"As an ENERGYSTAR® Partner, SAMSUNG has determined that this product meets the ENERGYSTAR® guidelines for energy efficiency."

Printed on recyclable paper

BN68-00150K-00

SAMSUNG

TFT-LCDモニター 取扱説明書

SyncMaster 152MP
SyncMaster 172MP

よりよい画面を見るためには

1. 最高の画質をお楽しみいただくために コンピューターのコントロールパネルで解像度と走査率を下記のように合わせて下さい。
   TFT液晶ディスプレーは最適の解像度でない場合 画質が均等にならないことがあります。
   - 解像度： 15" 1024 × 768　　● 垂直周波数： 60 Hz
     17" 1280 × 1024
2. 本製品は99.999%以上の精密度を持つ 最先端半導体の技術で製造されたTFT液晶ディスプレーパネルを使用致しております。
   しかし 時々 赤、緑、青、白等のピクセルが明るく光って見えたり、黒のピクセルが何個か見えることがありますが、これは不良製品ではありませんので 安心してご使用下さい。
   - 参考に 本製品に適用したTFT液晶ディスプレーのピクセルは 2,359,296(15")、3,932,160(17")個 です。
3. モニターをクリーニングする時は、乾いた柔らかい布にお水または中性洗剤を少量つけて拭いて下さい。
   液晶の表示部の場合には 力を入れないで軽くこすって下さい。強すぎる力が加わった場合、染みができることがあります。
4. 画質が満足できない場合には、Windows終了ボタンを押して出てくる画面の状態で“AUTO ADJUSTMENT”(自動調整)機能を実行させると より良い画質を現すことができます。
   自動調整した後にもノイズが発生する場合には、微細調整(FINE/COARSE)をして下さい。
5. 長時間固定された画面状態でお使いになる場合、画面に残像または染みがついているように見える症状が生じることもあります。
   なお、モニターを長い時間つけぱなして置く時には節電モードまたはスクリーンセーバーなどを動画像モードに設定してお使いになってください。

■ ご注意

- 本取扱説明書の無断複製を禁止します。
- 本取扱説明書の内容は、お客様に予告なく変更される場合があります。

Copyright ©2003 Samsung Electronics Co., Ltd

■ 商標・登録商標について

- 当社のロゴと本製品名「SyncMaster」は、Samsung Electronics Co., Ltd.の登録商標です。
- VESA®、DPMS、DDCはVideo Electronics Standard Associationの登録商標です。
- ENERGY STARの名前とロゴはU.S. Environmental Protection Agency(EPA)の登録商標です。本製品はENERGY STARの参加事業者として、ENERGY STARの省エネルギー促進のガイドラインを満たしています。
- 各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

目次

安全にご使用していただくために 2
準備 6
- 同梱物の確認 6
- 各部の名称とはたらき 7
- セットアップ 13
- モニタードライバのインストール 15

調整/設定 18
- グループOSDについて 18
- OSDについて 19
- OSDの操作のしかた 19
- 各調整/設定について 21
- OSDの設定 22
- PC画面調整 23
  - 画像の調整 25
  - 画質選択 26
  - サウンド(音)の調整 27
  - PIPの調整 28
- テレビ画像調整 29
  - テレビ チューナー ボックスの接続 (オプション) 29
  - 映像(ピクチャー)の調整 30
  - サウンド(音)の調整 32
  - NTSC放送システムについて 34
  - アクティブ 領域(サイズ)の設定 38
  - タイマー(スリープ)の設定 39
  - DNIe機能の設定 39
- ビデオ(VIDEO)画像調整 40
  - ビデオ(VIDEO)画像調整 40
  - サウンド(音)の調整 42
  - アクティブ 領域(サイズ)の設定 43
  - タイマー(スリープ)の設定 43
  - DNIe機能の設定 43
- DTV画像調整 44
  - サウンド(音)の調整 45
  - スクリーン設定 46
  - DNIe機能の設定 47

付録 48
- 節電機能(Power Saver) 48
- 画面モード 49
- 収納可能スタンドについて 50
- アームを取り付けるには 51

困ったときは 53
仕様 56
Natural Color 59
アフターサービス 67
索引 68

安全にご使用していただくために

ご使用の前に「安全にご使用していただくために」を必ず読み、よく理解して安全にご使用ください。

本書中のマークの説明

⚠ 警 告	この表示の欄は、守らなかった場合に死亡または重傷を負う可能性のある内容です。
⚠ 注 意	この表示の欄は、守らなかった場合にけがや物的な損害を受ける可能性のある内容です。
⃠	禁止の行為を表しています。 例えば ⃠ は「分解禁止」を表します。
●	必要な行為を表しています。 例えば ❗ は「必ず行う」を表します。

⚠ 警 告

⃠ 電源コードについて

取り扱いを誤ると電源コードが破損し、火災や感電の原因となります。

- 電源コードを加工する、無理にねじ曲げる、束ねて結ぶ、引っ張る、重いものを上に載せるなどの行為をしない。
- 濡れた手で電源プラグを触らない。
- 電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜く。
- 電源コードの表面のビニールが溶けるのを防ぐため、電源コードに熱機器を近づけない。

取り扱いについてのご注意

水や異物などを入れない

火災や感電の原因となります。

- 風呂場や水辺、雨天時の野外など、本製品に水がかかるような場所では使用しない。
- 本製品の通風孔から金属類や燃えやすいものを内部に差し込んだりしない。
- 本製品に水や異物などが入るのを防ぐため、本製品の上に水の入った容器や植木鉢、化粧品、薬、小さな金属類（安全ピン、ヘアピンなど）を置かない。

分解しない

電気ショートや感電の原因になります。

- 内部には電圧の高い部分があるので、キャビネットを開けて分解しない。
- お客様ご自身で修理、点検や改造をしない。

異常がある場合は

次の場合は、直ちに電源を切ってから電源プラグをコンセントから抜いてください。その後「お客様ご相談ダイヤル」に修理をご依頼ください。そのまま使いつづけると、火災や感電、けがの原因となります。

- 異常な音がする、変なにおいがする、煙が出ている。
- 電源コードが傷ついた（芯線の露出、断線など）。
- 本製品に水をこぼした、または内部に異物が入った。
- 本製品を落とした、またはキャビネットを破損した。

⚠注 意

設置場所について

次のような場所には置かないでください。機器の落下によるけがや故障、または内部温度の上昇による発火やけが、感電などの原因となることがあります。

- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定なところ。
- 湿気やほこりの多いところ。水場に近いところ。
- 暖房機器のそばなど、高温になるところ。
- 直射日光のあたるところ。
- 風通しの悪い狭いところ。
- 磁石やスピーカーなどの磁力を発生する機器が近くにあるところ。

設置のしかたについて

次のような置きかたをしないでください。機器の故障、または内部温度の上昇による発火やけが、感電などの原因になることがあります。

- 通風孔をふさいでしまい、内部の温度が上昇してしまうような狭いところに置く。
- 仰向けや横倒しに置く。
- じゅうたんの上や布団のような柔らかいものの上に置く。

ＡＣアダプターについて

取り扱いを誤ると火災や感電の原因となることがあります。

- ＡＣアダプターは、本製品に付属されたもの以外は使用しない。また、本製品用のＡＣアダプターを他の機器に使用しない。
- ＡＣアダプターを布や布団などで覆ったりしない。

液晶画面について

次の点にご注意ください。けがや感電、物損事故の原因となることがあります。

- 液晶画面を強く押したり、硬いもので触ったりしない。
- 液晶画面に衝撃を与えない。

電源プラグをコンセントから抜く

次の場合は、火災や感電など思わぬ事故を防ぐため、電源プラグをコンセントから抜きます。

- お手入れをする場合。
- 本製品を移動させる場合。
- 旅行などでしばらく使わない場合。

接続するときは

次の点にご注意ください。けがや感電の原因となることがあります。

- 接続するときは電源を切り、取扱説明書に従って正しく接続する。
- 外部オーディオ機器や市販のケーブルを使用する場合は、接続する前にこれらの取扱説明書も読む。

移動するときは

次の点にご注意ください。けがや感電、物損事故の原因となることがあります。

- 電源ケーブルをコンセントから抜き、接続コードを取り外す。

お手入れするときは

次の点にご注意ください。けがや感電、物損事故の原因となることがあります。

- 液晶の表面を清掃するときは、まず電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布で乾拭きする。
- キャビネットを清掃するときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布などで乾拭きする。汚れがひどい場合は、布をいったん中性洗剤を薄めた水に浸し、かたく絞ってから拭き取る。その後、再度乾いた布などで乾拭きする。
- 誤って本製品に水がかかってしまった場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布で水分を拭き取る。その後、十分に乾かしてから、電源プラグをコンセントに差し込む。

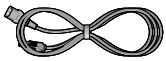
長期間安心ご使用していただくために、年に１回程度の清掃を「お客様ご相談ダイヤル」にご依頼ください。

準 備

■ 同梱物の確認

このたびは、当社液晶モニター(**152MP/172MP**)をお買い求めいただきありがとうございます。お使いいただく前に、以下の付属品が揃っているかご確認ください。万一不足しているものがあった場合は、おそれいりますが、67ページの「お客様ご相談ダイヤル」にご連絡ください。

Natural Color
&インストールドライバ



電源ケーブル

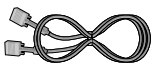
単 4 電池(2本)

保証書
(日本国内においてのみ
有効となります。)

液晶モニター

リモートコントローラー

取扱説明書（本書）



D-Sub15ピン信号ケーブル

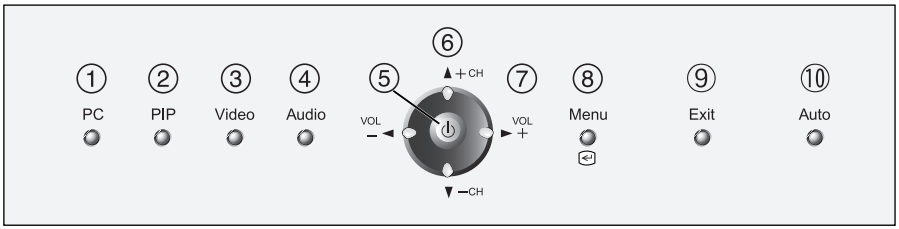
ステレオケーブル

DCアダプター

チューナー ボックス

■ 各部の名称とはたらき

フロントパネル



① PC
- ■ PC ソースが選択されます。
- ■ PIP ウィンドウを閉じます。

② PIP(ピクチャーインピクチャー)
- ■ PIP(ピクチャー イン ピクチャー) ウィンドウが PC モードで直接有効になります。
- ■ ビデオ ソース (テレビ、ビデオ、S-ビデオ) が選択されます。

③ Video(ビデオ)
- ■ ビデオ ウィンドウが最大化されます。
- ■ ビデオ ソース (テレビ、ビデオ、S-ビデオ、DTV) が選択されます。

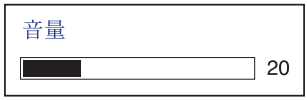
④ Audio(オーディオ)
- ■ オーディオ ソース (PC、テレビ、ビデオ、DTV) が選択されます。

⑤ Power(電源)/電源ランプ
- ■ 液晶モニターの電源をオン/オフします。
- ■ 液晶モニターの状態を示します。
  - 緑色　：通常の状態です。
  - 緑点滅：節電モードになっている、または信号ケーブルがはずれています。

⑥［▲][▼] Channel（チャンネル）ボタン

- OSD内の強調表示を上下に移動します。
  －ＣＨ＋
- チャンネルを選択します(OSDが表示されてないとき。)

⑦［◀][▶] Volume（音量）ボタン



- ＯＳＤ内の強調表示を左右に移動します。
- 選択した機能の数値を変更します。
  －ＶＯＬ＋
- 音量を調節します(OSDが表示されていないとき)。

⑧ MENU(メニュー)

- OSD(P. 19「OSDについて」参照)を開きます。

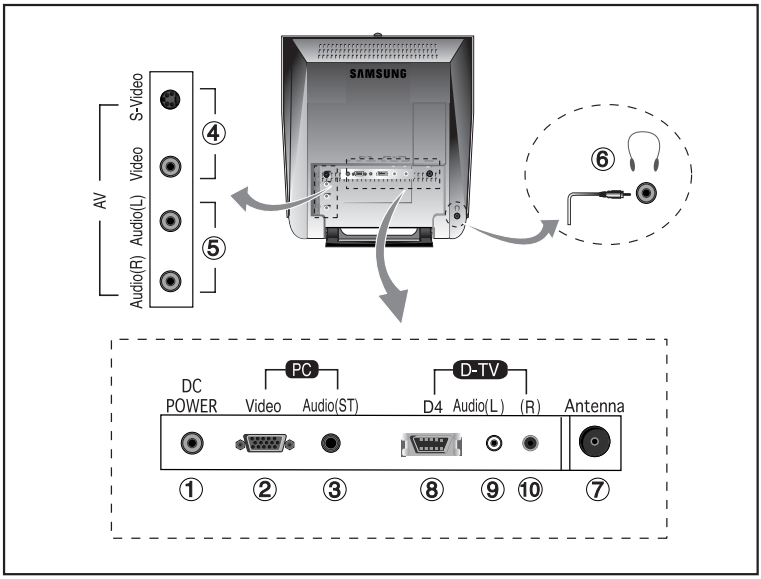
⑨ Exit(終了)

- OSD(P. 19「OSDについて」参照)を終了します。
- PIP(P. 28「PIPの調整」参照)を終了します。

⑩ Auto(オート)

- 受信したビデオ信号に応じてモニターが自動調整されます。
- 粗調整、微調整、位置が自動的に調整されます。

背面



① DC POWER(14V DC電源端子)

■ ＤＣアダプターのアダプタージャックを接続します。

② PC(Video)端子

■ コンピューターにつないだ信号ケーブルを接続します。

③ Audio(ST)端子

■ コンピューターにつないだステレオケーブルを接続します。

④ AV(Video/S-Video)端子

■ AV機器（S-VHS、ビデオデッキ、ビデオカメラなど）につないだビデオケーブルやS-VHSケーブルを接続します。
（ビデオケーブルや S-VHSケーブルは付属されておりません。）

⑤ AV[Audio(R)(右音声), Audio(L)(左音声)]端子

■ AV機器の音声出力端子につないだ RCA -ステレオケーブルを接続します。
（ RCA - ステレオケーブルは付属されておりません。）

⑥ ヘッドホーン出力(Head Phone)端子

■ ヘッドホーンジャックを接続します。

⑦ アンテナ(Antenna)入力端子

■ アンテナ接続プラグを取り付けたアンテナケーブルを接続します。
(アンテナ端子及びアンテナケーブルは付属されておりません。)

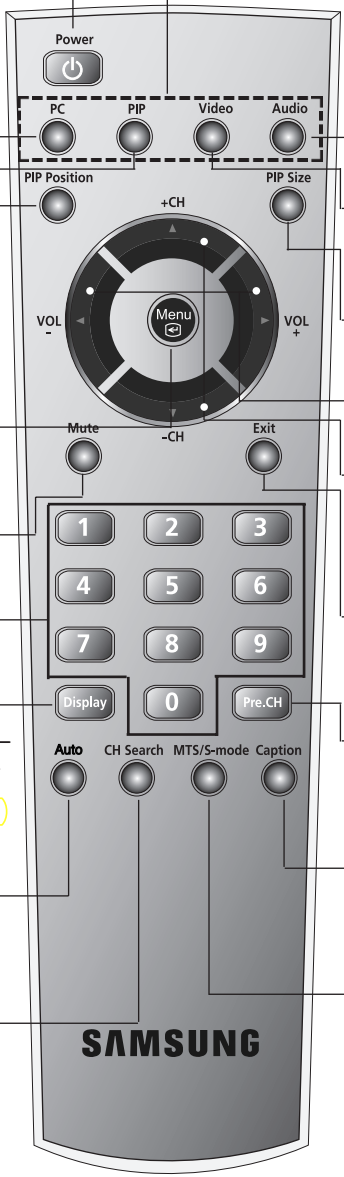
⑧ DTV(Video)端子

■ DTV用のD4ケーブルを使ってセットトップボックスとモニターの背面にあるDTV（Video)端子に接続します。**(D4ケーブルは付属されておりません。)**

⑨⑩ DTV[Audio(L)(左音声),Audio(R)(右音声)]端子

■ DTVセットトップ ボックスにつないだステレオケーブルを接続します。
(ステレオケーブルは付属されておりません。)

リモートコントローラー



■ **Power On/Off**
電源のオン、オフをします。

■ **PC**
PC 画面をオンします。

■ **PIP**
PC 画面に小さな画面を表示して接続したオーディオ機器の映像を見ます。

■ **PIP Position**
PIPモードから映像を調整します。

■ **Menu**
OSD（p.19「OSDについて」参照）を表示します。

■ **Mute**
音声を消音にします。

■ **チャンネルボタン**
チャンネルを選択します。

■ **Display**
ビデオソース/オーディオソース/チャンネル表示/サウンドモード/オーディオ選択/スリープタイマーを表示します。

■ **Auto**
粗調整/微調整/ポジションが自動的に調整されます。

■ **Channel search**
チャンネルを検索します。

■ **Source Control keys**
- PC（コンピューター）
- PIP（ピクチャーインピクチャー）
- Video（ビデオ）
- Audio（オーディオ）

■ **Audio**
オーディオソースを選択します。

■ **Video** (TV/VCR)
テレビ／ビデオデッキを選択します。

■ **PIP Size**
PIPサイズを調整します。

■ **Volume**
音量を調整します。

■ **Channel**
チャンネルを1チャンネルずつ切り替えます。

■ **Exit**
OSD(p.19「OSDについて」参照)を画面上から消します。

■ **Previous channel**
現在のチャンネルの前に選択していたチャンネルに切り替えます。

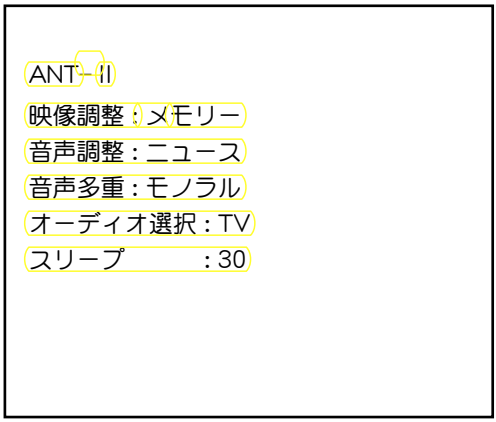
■ **Caption** (米国のみに有効)
字幕（closed caption)を表示します。

■ **S-mode** (ヨーロッパのみ有効)
音声多重放送の音声を切り替えます。

リモートコントローラーでのみ使用できる機能

表示

選択したビデオ ソース、オーディオ ソース、現在のチャンネルの音声モード、およびオーディオ選択がスクリーンの左上に表示されます。



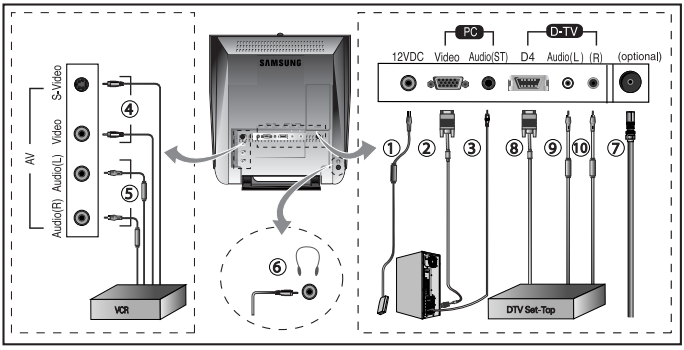
■ セットアップ

リモートコントローラーの準備

1 リモートコントローラーの背面の電池カバーをはずす。

2 電極を確認して付属の単 4 電池を 2 本挿入し、電池カバーを元に戻す。

液晶モニターのセットアップ



1 コンピュータの接続 (①②③)

A. 電源コードを DC アダプターに接続し、アダプター ジャックをモニターの背面にあるDC電源端子に接続する。

B. ミニD-Sub15ピンビデオ信号ケーブルをモニターの背面にあるビデオ端子に接続する。

C. ステレオ ケーブルをモニターの背面にある音声 (ステレオ) 端子に接続し、ケーブルの反対側の端子をコンピューターのサウンド カードの音声出力端子に接続する。

D. コンピューターと液晶モニターの電源を入れる。画面が表示されたら適切に設定されたことになります。

注意 画面が映り、ビデオドライバーの選択メッセージが表示されたら、システム内にあるドライバーを検索してください。本製品に最適なドライバーがない場合は、付属のCD-ROMを使ってコンピューターにインストールしてください。ドライバーのインストール方法については、CD-ROMのパッケージをご覧ください。

E. フロントパネルの**Auto**ボタンを押し、画面の自動調整を行う。

注意 初めてAutoで自動調整を行ったときに画面が現れない場合があります。(p.13「セットアップ」参照)。その場合は、お客様のコンピューターの画面設定で、解像度を1024X768ピクセルに設定した後、再度Autoを使って自動調整を行ってください。
※172MPは1280×1024ピクセルに設定してください。

2 外部 A/V 機器の接続(④⑤)

A. ビデオ (黄色) または S-VHS ケーブルを、ビデオ デッキ、ビデオカメラなどの外部 A/V 機器に接続する。
(ビデオケーブルや S-VHSケーブルは付属されておりません。)

B. RCA -ステレオケーブルを音声入力端子 (R (右)、L (左)) に接続し、ケーブルの反対側の端子を A/V 機器側の対応する出力端子に接続する。**(RCA - ステレオケーブルは付属されておりません。)**

C. ヘッドホーンをモニターの左側にあるヘッドホーン出力端子 (⑥) に接続する。

注意 ヘッドホーンを接続すると、内臓スピーカーから音声は出ません。

3 テレビまたはケーブルテレビの接続 (⑦)

A. アンテナまたはケーブルテレビ用のケーブルをモニターの背面にあるアンテナ端子に接続する。

4 DTV セットトップ ボックスの接続 (⑧⑨⑩)

A. DTV用のD4 ケーブルを使ってセットトップボックスとモニターの背面にあるDTV(Video)端子に接続します。
(コンポーネント端子ケーブルは付属されておりません。)

B. RCA -ステレオケーブルをモニターの背面にある音声入力端子 (R (右)、L (左)) に接続し、ケーブルの反対側の端子をDTVセットトップ ボックスの音声出力端子に接続する。

■ モニタードライバのインストール

OSの誘導に従い、このモニターに含まれているCD-ROMを差し込みます。ドライバのインストールが下記とは違う場合、ご利用のOSに伴い設定してください。

Windows XP

自動設置

1. CDを該当するドライブ(D:)に挿入してください。
2. CD-ROM ディスクは自動的に実行されます。万が一自動的に実行されないときは D: ドライブにある Setup.exe ファイルをダブルクリックしてください。
3. Monitor Driver Installationをクリックしてください。
4. モデルー覧からモニターモデルを選択した後、 **"OK"** ボタンをクリックしてください。
5. **"警告"** の窓にある **"設定"** ボタンをクリックしてください。
6. **"メッセージ"** の窓が下のように表れたら、**"継続"** ボタンをクリックしてください。(モニタードライバはMS ロゴ 認証を受けてあり、この設置作業はあなたの運営システムに損傷をあたえません。) その次に **"OK"** ボタンをクリックしてください。認証されたドライバは サムスンモニターホームページで見ることができます。
   http://www.samsungelectronics.com
7. モニタードライバーの設定が完了されました。

手動設置

1. CDを該当するドライブ(D:)に挿入してください。
2. **"スタート"** → **"コントロールパネル"** そして **"ディスクトップテーマ"** アイコンなどを順番にクリックしてください。
3. **"画面"**をクリックした次に**"設定"**タップ, そして **"詳細"**をクリックしてください。

4 **"モニター"**タップの**"登録情報"** ボタンをクリックした次に**"ドライバ"**タップを選択してください。

5 **"ドライバアップデーター"**をクリックした次に**"一覧から設置"** そして **"次へ"** ボタンをクリックしてください。

6 **"検索しない、自分で ..."**を選択して **"次へ"** そして **"ディスク使用"**をクリックしてください。

7 **"ブラウザー"** ボタンをクリックして D: Driverを選択した次にモデル目録で、あなたのモデルを選択し **"次へ"** ボタンをクリックしてください。

8 **"メッセージ"** の窓が下のように表れたら**"継続"** ボタンをクリックしてください。(モニタードライバは MS ロゴ認証を受けてあり、この設置作業はあなたの運営システムに損傷をあたえません。)その次に **"完了"** ボタンをクリックしてください。

認証されたドライバは サムスンモニターホームページで見ることができます。

http://www.samsungelectronics.com

9 **"閉じる"**ボタンをクリックした次に **"OK"** ボタンをクリックしてください。

10 モニタードライバの設置が完了されました。

Windows® 2000

1 Windows®2000 は新しいモニターを検出し、ドライバがインストールされていない場合、「新しいハードウェアをインストールする」というウィザードがスタートします。**"次へ(NEXT)"**をクリックするとドライバの検出を行います。

2 モニターのドライバをどのディスクドライブボックスからインストールするか選択して **"次へ(NEXT)"** をクリックします。

3 Windowsがドライバをディスク上から検出したことをチェックし、**"次へ(NEXT)"** をクリックしてインストールを行います。

手作業でインストールする場合や、新しいドライバをインストールする場合は、下記の通りに行って下さい。

1 **スタート、設定、コントロールパネル、画面の設定のタブ、詳細、モニターのタブの変更**をクリックします。そうすると「新しいハードウェアをインストールする」というウィザードがスタートします。

2 表示されるステップに従って操作します。

■ グループOSDについて

モニターの設定によって OSD の画面は異なります。

テレビ チューナー付き

テレビ チューナーなし

OSD メニューの中には、特定の操作モードでは無効となりグレーで表示されるものもあります。これらのメニューはそれぞれが使用できるモードになった場合のみ有効になります。

注意 ■OSDから各機能の設定を変更して約 5 秒以上 Menu を押さないと、自動的に変更した内容が保存されます。

■OSDが画面に表示されてないときに Menu を 5 秒押し続けると、設定内容を変更できないように固定することができます。固定されたときはOSDの機能アイコンの中に下記の機能とインフォメーションを除いたすべてOSDメニュー画面の下に“ロック！”というメッセージとともにアイコンがグレーで表示されて調整出来ません。ただし、

1)PCグループの明るさ、コントラスト

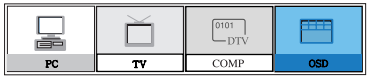
2)TVグループのチャンネル(Channel)、音量(Volume)

3)コントロールボタンのダイレクトアクセスキー(PC、PIP、ビデオ(Video)、オーデイオ(Audio)、チャンネル(channel)、音量(Volume)、メニュー(Menu)、Exit、オート(Auto)

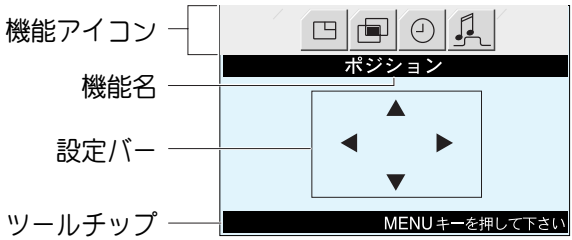
4)リモコンのすべてのダイレトアクセスキーの変更は可能です。再度 Menu を 5 秒以上押し続けると固定を解除できます。

■ OSDについて

OSD(オンスクリーンディスプレイ)とは、液晶モニターを調整/設定するための画面です。フロントパネルとリモートコントローラーのどちらでも操作ができます。



グループOSD画面



機能OSD画面

■ OSDの操作のしかた

1 Menuを押す。グループOSDが表示されます。

2 [◀][▶]でアイコンを選択する。選択されているグループアイコンが強調表示されます。

3 再度Menuを押す。選択された機能OSDが決定され、メニュー画面が表示されます。

注意 ・グループOSDメニューの中には、グレーで表示されてアイコンは選択できません。
・これらのメニューを使用できるモードにするにはp.13の「セットアップ」を参照してケーブルを接続し、フロントパネルとリモートコントローラーのPCまたはVideoボタンを押してください。

4 [◀][▶]でアイコンを選択する。選択されているアイコンが強調表示されます。

5 再度(Menu)を押す。選択されたアイコンが決定され、メニュー画面が表示されます。

6 [▲][▼][◀][▶]で、メニュー画面の選択項目を選ぶ。様々な画面の調整や設定をすることができます。

7 (Menu)を押して各機能の調整や設定を決定する。各機能についてはp.21「各調整/設定」をご覧ください。

8 (Menu)を押して、[▲][▼][◀][▶]で各機能のサブメニューの項目を選択する。

9 (Menu)を押して、サブメニューで選択した項目の調整/設定をする。

注意 ■調整/設定は(Menu)を押すことで決定しますが、機能によっては(Menu)を押さずに手順10へ進みます。

10 OSDを画面上から消す場合は、本体フロントパネルの(Exit)を押すか、リモコンの(Exit)を押す。

注意 ■機能によっては、機能メニュー内にサブメニューがあります。サブメニューからOSDを消すときなど表示状態によって、(Exit)を押す回数が変わります。

■ 各調整/設定について

各調整/設定の操作説明は、フロントパネルとリモートコントローラーのどちらにも対応しています。カッコで囲まれた操作説明は、フロントパネルとリモートコントローラーを使った別の操作方法を示しています。

注意 2時間以上電源を切っていた場合は、電源を入れた20分後から調整を行ってください。

操作の見かた

(Menu) **マーク** ：メニューボタンを押します。

アイコンマーク ：OSD内に表示されます。フロントパネルの[◀][▶]で選択し、メニューボタンを押すことで決定します。

□ **マーク** ：選択したアイコンの設定バーに表示される選択項目(サブメニュー)です。再度メニューボタンを押した後[▲][▼][◀][▶]で選択し、メニューボタンを押すことで決定します（機能によってはメニューボタンを押さずに、Exitボタンを押してOSD画面を消すと決定します)。

■ OSDの設定

OSDの表示位置を変える

操作 Menu ➡ ➡

OSDの背景を半透明にする

操作 Menu ➡ ➡

OSDの表示時間を変える

操作 Menu ➡ ➡

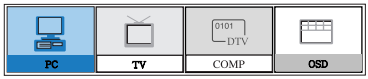
[5/10/20/50/200]秒

OSDのビープ音を設定(オン/オフ)する

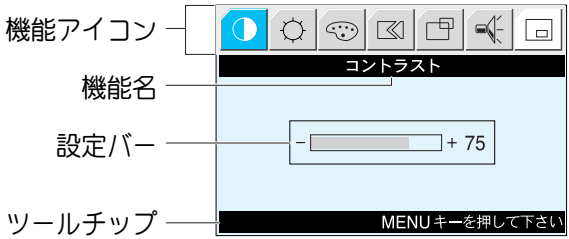
操作 Menu ➡ ➡

注意 OSDグループはどのグループアイコンを選択しても設定することができます。

PC画面調整



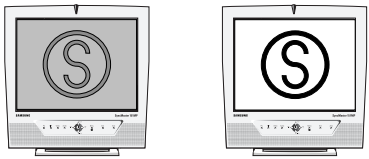
グループOSD画面



機能OSD画面

画像の輪郭をはっきりさせる

操作 Menu ➡ PC ➡ ◑



画像を明るくする(暗くする)

操作 Menu ➡ PC ➡ ☼

画面の色を白色にする

操作 Menu ➡ PC ➡ ➡ モード 1

画面の色を赤みがかった白色にする

操作 Menu ➡ PC ➡ ➡ モード 2

画面の色を青みがかった白色にする

操作 Menu ➡ PC ➡ ➡ モード 3

画面の色をお客様の好みに調整にする

操作 Menu ➡ PC ➡ ➡ ユーザーモード

画面の色を工場出荷時の状態に戻す

操作 Menu ➡ PC ➡ ➡ 初期化

画像の調整

画像のノイズを取り除く

操作 Menu ➡ PC ➡ ⮜ ➡ 画像ロック ➡ 粗調整 / 微調整

注意 微調整が正しく調整できないときは、最初に粗調整を行い、その後微調整を行ってください。

⮜ を行うと、画像の横幅が変更されることがあります。

その場合は、◂ ▸ を使用して画像を中央に移動させてください。(p.26「画像を横軸方向に移動する」参照)。

粗調整が悪い画面

微調整が悪い画面

現在の画面モードを確認する

操作 Menu ➡ PC ➡ ⮜ ➡ 画像ロック ➡ インフオメーション

画面設定を工場出荷時の状態に戻す

操作 Menu ➡ PC ➡ ⮜ ➡ 画像ロック ➡ 初期化

画質選択

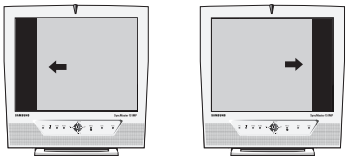
画像に効果(シャープにする/ぼやかす)を加える

操作 Menu ➡ PC ➡ ➡ 画質選択

- あらい　　画像をよりシャープにする。
- ややあらい　　画像を少しシャープにする。
- 中間　　画像をややあらいとややソフトの中間くらいで調整する。
- ややソフト　　画像をぼやかす。
- ソフト　　画像をよりぼやかす。

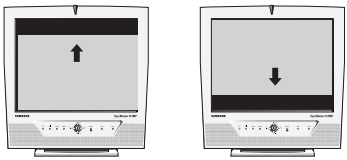
画像を横軸方向に移動する

操作 Menu ➡ PC ➡ ➡ ◀ ▶



画像を縦軸方向に移動する

操作 Menu ➡ PC ➡ ➡ ▲ ▼



サウンド(音)の調整

オーディオ機器の音を切り替える

操作 Menu ➡ PC ➡ ➡ モード

- 標準 : 音を工場出荷時の状態を再生します。
- 音楽 : 音楽ビデオまたはコンサートの映像を見るときに選択します。
- 映画 : 映画を見るときに選択します。
- ニュース : ニュースなどの主に対話を視聴するときに選択します。
- メモリー : 音をお客様の好みに調整する。
  低音 : 低音を調整する
  高音 : 高音を調整する

注意 低音と高音の調整はメモリーモードのみ調整できます。

PIPの調整

PIP画面のサイズを変える

操作 (Menu) ➡ PC ➡ ▭ ➡ サイズ ➡ ノーマル / ワイド

(リモートコントローラー：PIP Size ➡ ノーマル/ワイド)

注意 ■ PIP(ピクチャーインピクチャー)とは、接続したオーディオ機器の映像を小さな画面に表示して、使用中の画面上で見ることができる機能です。フロントパネルとリモートコントローラーの (PIP) を押すことでPIPを表示することもできます。(p.7「各部名称とはたらき」参照)

■ PIP機能はコンピューター画面を表示中にのみ使用することができます。

■ PIPを押すと[PC+TV]、[PC+Video]、[PC+S-Video]に切り替える。

PIP画面の位置を変える

操作 (Menu) ➡ PC ➡ ▭ ➡ ポジション ➡ [▲][▼]/[◀][▶]

(リモートコントローラーのみ：PIP Position ➡ [▲][▼][◀][▶])

注意 (PIP) ポジションは (PIP) 画面が表示中にのみ調整することができます。

PIP画面を消す

操作 (Exit) ➡ (Exit)

(リモートコントローラーのみ：(Exit) ➡ (Exit))

注意 ■ ＰＣの垂直画面周波数を60Hzに設定してご使用ください。異なる周波数で行う場合、PIPで使われる垂直周波数とＰＣの周波数の差異が大きくなり、画面が不自然な現象になる場合があります。

調整/設定（テレビ画像）

■ テレビ画像調整

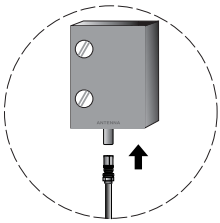
出荷時には電波放送のチャンネルが設定されていますが、各地域に対応したチャンネルに変更したり、ケーブル放送を見るために設定を変更したりすることができます。

テレビ チューナー ボックスの接続

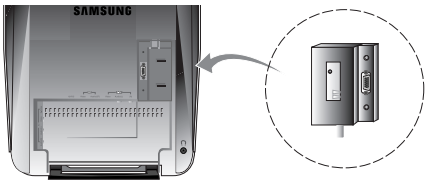
1 DC アダプターを外す。

2 チューナー ボックスの蓋を取り外す。

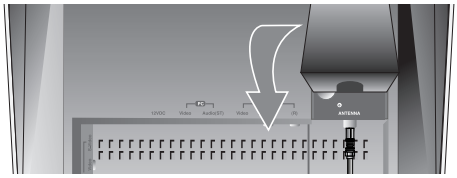
3 アンテナまたはケーブルテレビ用のケーブルをチューナー ボックスのアンテナ ポートに接続する。



4 チューナー ボックスをモニターの背面にあるチューナー ボックス用スペースに挿入する。
硬貨などを利用して 2 つのネジを締め、チューナーを固定する。



5 チューナー ボックスに蓋を取り付ける。

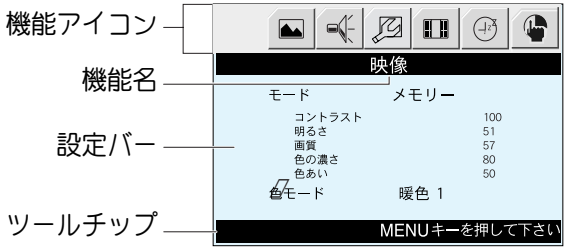


6 DC アダプターの電源コードを接続するとテレビ機能の使用が可能になる。

注意 チューナーボックスを取り付ける際には、本体とチューナーボックスのコネクタ部分を確実に合わせしっかりと挿入してください。
また、ネジ締付け時はあまり力を入れ過ぎますと、本体側の取り付けステーが破損する恐れが有ります。

映像(ピクチャー)の調整

グループOSD画面



機能OSD画面

オーディオ機器の映像をお客様の好みに切り替える

操作 Menu ➡ TV ➡ ➡ モード

1 メモリー：オーディオ機器の映像をお客様の好みに調整する

- コントラスト : オーディオ機器のぼやけている画像を調整します。
- 明るさ : オーディオ機器の明るすぎる(暗すぎる)画像を調整します。
- 画質 : オーディオ機器の輪郭がはっきりしない画像を調整します。
- 色の濃さ : オーディオ機器の画像の濃度(色調)を調整します。
- 色あい: オーディオ機器の色合い(トーン)を調整 します。

2 ダイナミック：AV機器を明るい室内または昼間にテレビを見るときにはダイナミックを選択します。

3 標準 : オーディオ機器を工場出荷時の状態に再生します。

4 映画 : オーディオ機器から映画を鑑賞する時に選択します。

注意 この機能を使用しても、コンピューターのRGBで設定した濃度(色調)には影響しません。

オーディオ機器の映像の色モードを切り替える

操作 Menu ➡ TV ➡ 画像 ➡ 色モード

- 寒色2
- 寒色1
- ノーマル
- 暖色 1
- 暖色2

サウンド(音)の調整

オーディオ機器の音を切り替える

操作 (Menu) ➡ TV ➡ ➡ ➡ [モード]

- 標準 : 音を工場出荷時の状態を再生します。
- 音楽 : 音楽ビデオまたはコンサートの映像を見るときに選択します。
- 映画 : 映画を見るときに選択します。
- ニュース : ニュースなどの主に対話を視聴するときに選択します。
- メモリー : 音をお客様の好みに調整する。
  低音 : 低音を調整する
  高音 : 高音を調整する

注意 低音と高音の調整はメモリーモードのみ調整できます。

音声をモノラル/ステレオ/2ヶ国語に切り替える

操作 (Menu) ➡ TV ➡ ➡ ➡ [音声多重]

(リモートコントローラー : (Display))

注意
- モノラル : モノラル音声を再生します。
  ステレオ音声をモノラルにすると、左右の音声を一つにまとめてモノラル音声で再生します
- ステレオ : ステレオ音声を再生します。
- 2ヶ国語 : 音声多重放送の2ヶ国語や副音声などを再生します。

音声のステレオ設定を自動/手動に切り替える

操作 (Menu) ➡ TV ➡ ➡ ➡ [ステレオ設定]

- 自動
- 手動

液晶モニターの音声を一時的に消音にする

操作 (Mute) (リモートコントローラー：Mute)

注意 消音のときは画面の右下にx印のついたスピーカーが表示されます。チャンネルや音量を変えたいとき、またはPIP(p.28「PIPの調整」参照)を表示したときに消音は解除されます。

NTSC放送システムについて

テレビチューナーはNTSC放送システムに対応しています。NTSC放送システムとは世界各国で採用されている放送システムです（p.49表３「NTSC放送システム」参照）。

チャンネルシステム(ANT/CATV)を設定する

電波放送かケーブル放送かを設定します。

1. アンテナ入力端子にアンテナケーブルを接続する。
2. フロントパネルのVideoボタンを押し、TVを選択する。
3. Menu を押す。OSDが画面に表示されます。
4. [◀][▶]を使って TV を選択し、Menu を押す。選択項目が表示されます。
5. [◀][▶]を使って を選択し、Menu を押す。選択項目が表示されます。
6. ANT/CATV が選択されているのを確認し、Menu を押す。ANT/CATVの選択項目が表示されます。
7. [◀][▶]を使ってANT/CATVを選択する。

注意 電波による放送に接続するには「ANT」を、ケーブルによる放送に接続するには「CATV」を選択してください。

自動チャンネルを設定する

1 Menu を押す。OSDが画面に表示されます。

2 [◀][▶]を使って TV を選択し、Menu を押す。選択項目が表示されます。

3 [◀][▶]を使って を選択し、Menu を押す。選択項目が表示されます。

4 [▲][▼]を使って自動チャンネル設定を選択して、Menu を押す。自動チャンネル検索を行います。

注意 ■ 全てのチャンネルを検索するには約1-2 分間かかります。チャンネルの検索にかかる時間は、その地域で見られるチャンネル数によって異なります。

■ TVメニューのチャンネル( )はテレビ チューナーを取付けた場合のみ使用できます。

■ グループOSD画面にテレビ(TV)アイコンの代りにビデオ(VIDEO)アイコンが表示されるときにはテレビチューナーがないので確認してください。
テレビ チューナーが取り外してある場合には、チャンネルメニューはグレーで表示され、移動もできなくなります。

受信感度(チャンネル微調整)を調整する

チャンネル自動設定で検索したチャンネルの受信状態が悪いときに使用します。

1. Menu を押す。OSDが画面に表示されます。
2. [◀][▶]を使って TV を選択する。
3. Menu を押し、[◀][▶]を使って を選択する。
4. Menu を押し、[▲][▼]を使って チャンネル微調整 を選択する。
5. Menu を押す。チャンネル微調整画面が表示されます。
6. [◀][▶]を使って、受信状態を調整します。

テレビの映像が明るすぎる（暗すぎる）、ぼやけている、色が悪いときなどは、OSDを表示してお好みの状態に調節してください。(p.40「ビデオ(VIDEO)画像の調整」参照)。

チャンネルを記憶/消去する

チャンネル検索終了後にチャンネルを追加したり、必要のないチャンネルを削除できます。

1. [◀][▶]を使って TV を選択する。
2. [◀][▶]を使って を選択する。
3. Menu を押し、[▲][▼]を使って 記憶/消去 を選択する。
4. Menu を押す。設定バーに 記憶済 と 消去済 が表示されます。
5. チャンネルを追加する場合は 記憶済 を、チャンネルを消去する場合は 消去済 を[◀][▶]を使って選択する。
6. Menu を押す。チャンネルの追加(消去)が終了します。

LNA (アンテナの受信感度増幅)

アンテナの受信感度がよくない場合、信号を自動的に増幅させる機能です。

1 Menu を押す。OSDが画面に表示されます。

2 [◀][▶]を使って TV を選択する。

3 Menu を押し、[◀][▶]を使って を選択する。

4 Menu を押し、[▲][▼]を使って LNA を選択する。

5 Menu を押す。LNA(Low Noise Amplifier)機能選択項目が表示されます。

6 [◀][▶]を使って オン を選択します。
LNA 機能の設定が終了します。

注意 LNA 機能が動作する時に、受信信号によって混信されると, LNA(Low Noise Amplifier)機能が誤動作する場合がありますので、こういう時にはLNA機能を止めて下さい。

アクティブ 領域(サイズ)の設定

イメージのアクティブ 領域をノーマルまたはワイドに設定する。

操作 Menu ➡ TV ➡ ➡ ノーマル / ワイド

ノーマルの画面(4:3)

ワイドの画面(16:9)

ズーム(172MPのみ)

注意 この機能は PIP では使用できません。

タイマー(スリープ)の設定

スリープタイマーを設定する。

操作 Menu ➡ ➡ ➡ オフ / 30分 / 60分 / 120分

注意 タイマー(スリープ)の設定はD-TVまたはコンピューター画面を表示しているときには使用できません。

DNIe機能の設定

画面をより明るく、鮮明にみたいとき DNIe機能を選択する。

DNIe(Digital Natural Image engine)機能は、より明るく、鮮明で繊細な画質が楽しめるよう弊社が開発したイメージ補整の機能です。

操作 Menu ➡ ➡

DNIeモード

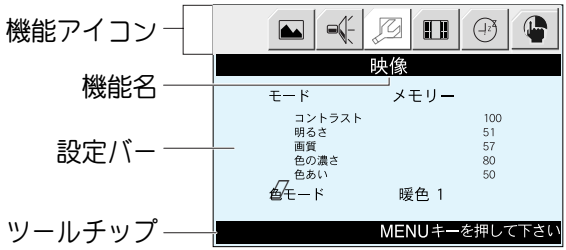
- DNIe オフ　：DNIe機能を解除します。
- DNIe MIDEUM：中間くらいのイメージ補整を行います。
- DNIe HIGH　：高い水準のイメージ補整を行います。
- DNIe デモ　：DNIe機能を実行する前に、右側にDNIe機能を適応する前の画面が、左側にはDNIe機能を適応した後の画面が表示され 2 つの画面の比較ができます。

注意 コンピューターのRGB画面モードではDNIe機能を使用できません。

調整/設定（ビデオ画像）

■ ビデオ(VIDEO)画像調整

グループOSD画面



機能OSD画面

オーディオ機器の映像をお客様の好みに切り替える

操作 (Menu) ➡ VIDEO ➡ ➡ モード

1 メモリー：オーディオ機器の映像をお客様の好みに調整する。

- コントラスト : オーディオ機器のぼやけている画像を調整します。
- 明るさ : オーディオ機器の明るすぎる(暗すぎる)画像を調整します。
- 画質 : オーディオ機器の輪郭がはっきりしない画像を調整します。
- 色の濃さ : オーディオ機器の画像の濃度(色調)を調整します。
- 色あい: オーディオ機器の色合い(トーン)を調整 します。

2 ダイナミック：オーディオ機器を明るい室内または昼間にテレビを見るときにはダイナミックを選択します。

3 標準 : AV機器を工場出荷時の状態に再生します。

4 映画 : AV機器から映画を見るときに選択します。

注意 この機能を使用しても、コンピューターのRGBで設定した濃度(色調)には影響しません。

オーディオ機器の映像の色モードを切り替える

操作 Menu ➡ VIDEO ➡ ➡ 色モード

- 寒色2
- 寒色1
- ノーマル
- 暖色 1
- 暖色2

サウンド(音)の調整

オーディオ機器の音を切り替える

操作 (Menu) ➡

➡ ➡ [モード]

- 標準 : 音を工場出荷時の状態を再生します。
- 音楽 : 音楽ビデオまたはコンサートの映像を見るときに選択します。
- 映画 : 映画を見るときに選択します。
- ニュース : ニュースなどの主に対話を視聴するときに選択します。
- メモリー : 音をお客様の好みに調整する。
  低音 : 低音を調整する
  高音 : 高音を調整する

注意 低音と高音の調整はメモリーモードたけ調整できます。

音声をステレオ/モノラル/2ヶ国語に切り替える

操作 (Menu) ➡

➡ ➡ [音声多重]

(リモートコントローラー : (Display))

注意
- ステレオ : ステレオ音声を再生します。
- モノラル : モノラル音声を再生します。
  ステレオ音声をモノラルにすると、左右の音声を一つにまとめてモノラル音声で再生します。
- 2ヶ国語 : 音声多重放送の2ヶ国語や副音声などを再生します。

アクティブ 領域(サイズ)の設定

イメージのアクティブ 領域をノーマルまたはワイドに設定する。

操作 Menu ➡ VIDEO ➡ ➡ ノーマル / ワイド

ノーマルの画面(4:3)

ワイドの画面(16:9)

ズーム(172MPのみ)

注意 この機能は PIP では使用できません。

タイマー(スリープ)の設定

自動的に液晶モニターの電源をオフにする

操作 Menu ➡ VIDEO ➡ ➡ オフ / 30分 / 60分 / 120分

注意 タイマー(スリープ)の設定はコンピューター画面を表示しているときには使用できません。

DNIe機能の設定

画面をより明るく、鮮明にみたいとき DNIe機能を選択する

DNIe(Digital Natural Image engine)機能は、より明るく、鮮明で繊細な画質が楽しめるよう弊社が開発したイメージ補整の機能です。

操作 Menu ➡ VIDEO ➡

DNIeモード

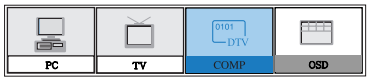
- DNIe オフ　：DNIe機能を解除します。
- DNIe MIDEUM：中間くらいのイメージ補整を行います。
- DNIe HIGH　：高い水準のイメージ補整を行います。
- DNIe デモ　：DNIe機能を実行する前に、右側にDNIe機能を適応する前の画面が、左側にはDNIe機能を適応した後の画面が表示され 2 つの画面の比較ができます。

注意 コンピューターのRGB画面モードではDNIe機能を使用できません。

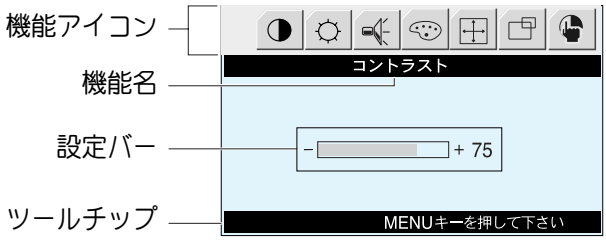
調整/設定（DTV画像）

■ DTV画像調整

本製品にはDTV放送システムに対応していますので、DTV用セットトップ ボックスとケーブルを接続(p.14 「DTV用セットトップ ボックスの接続」参照)するだけでDTVを見ることができます。



グループOSD画面



機能OSD画面

DTVの映像の輪郭をはっきりさせる

操作 Menu ➡ DTV COMP ➡ ◑

注意 DTVのぼやけている画像を調整するときに使用します。この機能を使用しても、コンピューターのRGBで設定したコントラストには影響しません。

DTVの映像を明るくする(暗くする)

操作 Menu ➡ DTV COMP ➡ ☼

注意 DTVの明るすぎる（暗すぎる）画像を調整するときに使用します。この機能を使用しても、コンピューターのRGBで設定した明るさには影響しません。

サウンド(音)の調整

オーディオ機器の音を切り替える。

操作 Menu ➡ 0101 DTV COMP ➡ ➡ モード

- 標準 : 音を工場出荷時の状態を再生します。
- 音楽 : 音楽ビデオまたはコンサートの映像を見る時に選択します。
- 映画 : 映画を見る時に選択します。
- ニュース : ニュースなどの主に対話を視聴する時に選択します。
- メモリー : 音をお客様の好みに調整する。
  低音 : 低音を調整します
  高音 : 高音を調整します

DTVの映像の濃度(色調)を変える

操作 Menu ➡ 0101 DTV COMP ➡

注意 DTVの画像の濃度(色調)を調整するときに使用します。この機能を使用してもコンピューターのRGBで設定した濃度(色調)には影響しません。

スクリーン設定

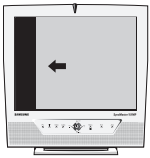
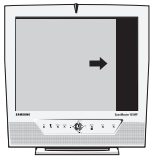
DTVのスクリーンサイズを設定する

操作 Menu ➡ 0101 DTV COMP ➡ ↔ ➡ ノーマル / ワイド

ノーマル画面(4:3)　ワイド画面(16:9)

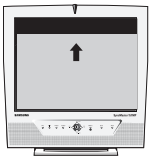
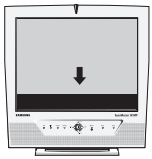
画像を横軸方向に移動する

操作 Menu ➡ 0101 DTV COMP ➡ ➡ ◀ ▶

画像を縦軸方向に移動する

操作 Menu ➡ 0101 DTV COMP ➡ ➡ ▲ ▼

DNIe機能の設定

画面をより明るく、鮮明にみたいとき DNIe機能を選択する

DNIe(Digital Natural Image engine)機能は、より明るく、鮮明で繊細な画質が楽しめるよう弊社が開発したイメージ補整の機能です。

操作 Menu ➡ 0101 DTV COMP ➡

DNIeモード

- DNIe オフ　：DNIe機能を解除します。
- DNIe MIDEUM：中間くらいのイメージ補整を行います。
- DNIe HIGH　：高い水準のイメージ補整を行います。
- DNIe デモ　：DNIe機能を実行する前に、右側にDNIe機能を適応する前の画面が、左側にはDNIe機能を適応した後の画面が表示され 2 つの画面の比較ができます。

注意　コンピューターのRGB画面モードではDNIe機能を使用できません。

付録

■ 節電機能(Power Saver)

本製品は「Power Saver」(パワーセーバー)と呼ばれる消費電力を管理する機能を搭載しており、コンピューターの電源設定をローパワーモード(省電力モード)にすることで使用できます。長時間操作をしない状態が続くと自動的に節電機能が働きます。本機能はコンピューターが「電源オン」、「節電モード」、「パワースイッチオフ」のモードのときに有効となります。「Power Saver」(パワーセーバー)はコンピューターにインストールされているVESA®ビデオカードのDPMS(Display Power Managerial Signaling)機能が働くと節電モードになります。この機能を設定するには、コンピューターにインストールされているソフトウェアを使用してください。詳細については以下の表1をご覧ください。

表1. 節電モード

状態	通常動作	節電モード (EPA/ENERGY2000)	パワースイッチ オフ
電源ランプ	緑	緑点滅	黒
消費電力	**152MP :** 48W(最大)	2W以下	2W
	172MP : 58W(最大)		

注意 節電モード中にコンピューターのマウスを動かしたり、キーボードのキーを押したりすると、節電モードからノーマルモードに切り換わります。
本機はEPA ENERGY STAR®とENERGY2000に対応しています。節電のため、長時間使用しないときは液晶モニターの電源をオフにしてください。

■ VCCIについて

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

■ 画面モード

リストは、製造時に最適化されたスクリーンイーメジです。

表2. プリセットタイミングモード

モード	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセルクロック (MHz)	同期極性 (H/V)
VGA	640X350	31.469	70.086	25.175	+/−
	640X480	31.469	59.940	25.175	−/−
	720X400	31.469	70.087	28.322	−/+
	640X480	37.500	75.000	31.500	−/−
	640X480	37.861	72.809	31.500	−/−
SVGA	800X600	35.156	56.250	36.000	+,−/+,−
	800X600	37.879	60.317	40.000	+/+
	800X600	46.875	75.000	49.500	+/+
	800X600	48.077	72.188	50.000	+/+
XGA	1024X768	48.363	60.004	65.000	−/−
	1024X768	56.476	70.069	75.000	−/−
	1024X768	60.023	75.029	78.750	+/+
SXGA (172MPのみ)	1280X1024	63.981	60.020	108.00	+/+
	1280X1024	79.976	75.025	135.00	+/+
MAC	640X480	35.000	66.667	30.240	−/−
	832X624	49.726	74.551	57.284	−/−
SUN (172MPのみ)	1280X1024	81.129	76.106	135.00	−/−

表3. NTSC放送システム

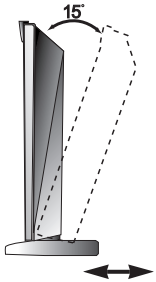
カラーシステム	サウンドシステム	ステレオシステム	チャンネルシステム	国
NTSC	M	A2	US	韓国
		BTSC※1 (SAP)	US	アメリカ、カナダ、チリ、ベネゼイラ、キューバ、コロンビア、ジャマイカ、メキシコ、パナマ、ペルー、フィリピン、プエルトリコ、台湾
		EIAJ※2	日本	日本

※1 BTSC : Broadcast Television System Committee

※2 EIAJ : Electronic Industries Association of Japan

■ 収納可能スタンドについて

液晶モニターのスタンドは折りたたんで収納することができます。



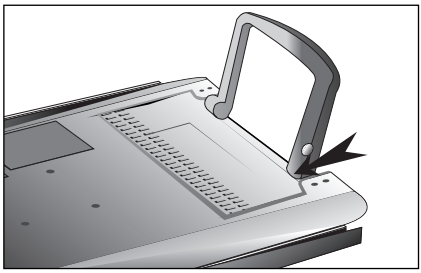
注意 ■傾ける角度は後ろ方向へ最大15度です。決められた角度以上に力を入れて液晶モニターを傾けると、収納スタンドの機能を著しく損なう恐れがあります。

■液晶モニターを折りたたむとき（p.51「収納可能スタンドを収納または取り除きます」参照）、「FOLD」ボタンを押してもスタンドとモニターの接続部分が固くて折りたたみにくいことがあります。折りたためないときは無理をせずに、「お客様ご相談ダイヤル」までご相談ください。

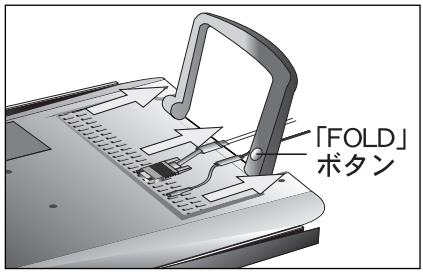
■ アームを取り付けるには

アームタイプのスタンドを取り付けることによって、空間を有効に利用しながらお好きな位置で液晶モニターを使うことができます。VESA® 規格アームの使用ご希望の場合は、67ページの「お客様ご相談ダイヤル」にお問い合わせください。別売りのVESA® 規格のアームを使用するには、最初に液晶モニターの収納可能スタンドを折りたたみます。

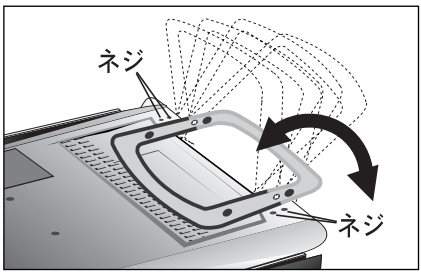
収納可能スタンドを収納または取り除きます



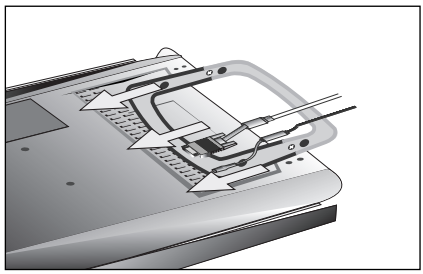
①



②



③



④

注意 ■アーム取付及び壁掛け取付につきましてはお客様の責任において行って下さい。万一事故が発生した場合も当社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

1 画面を保護するために安定した場所にクッションまたはやわらかい布などを敷き、図①のように画面を下にして液晶モニターを置く。

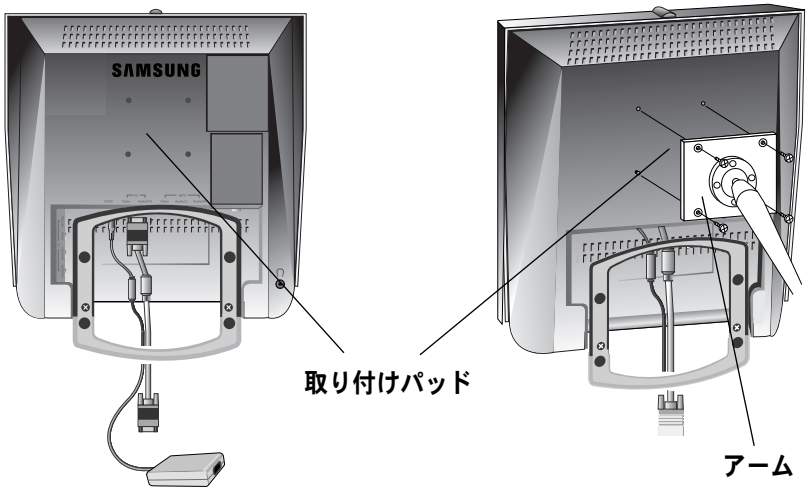
2 液晶モニターに接続されているすべてのケーブルをはずす。

3 収納可能スタンドの[FOLD]ボタン(図②)を押し、収納可能スタンドが垂直になる位置まで後ろの方へ傾ける。

4 スタンドを取り除く場合には(図③)のように四本のネジを外すと、液晶モニターからスタンドを取り除けます。

5 手順2ではずしたケーブルを同じ位置に接続する。アームを装着する準備が整いました。

VESA® 規格のアームを取り付ける



注意 ■ このモニターは、75mm x 75mm (172MP:100mm×100mm) VESAに互換可能のインターフェースパッドを使用します。

1 アームの接続部分を、液晶モニター背面の取り付けパッドに合わせる。

2 アームに同梱されている４本のネジで、液晶モニターとアームの接続部分をしっかり固定する。

困ったときは

表4. 画像関連

症状	対処	参照先
画面に何も表示されず、電源ランプが消えている	■電源コードが接続され、液晶モニターの電源がオンになっているを確認してください。	セットアップ p.13
「接続を確認してください。」のメッセージが表示される。	■信号ケーブルがコンピューターまたはオーディオ機器に接続されているかを確認してください。 ■コンピューターまたはオーディオ機器の電源がオンになっているかを確認してください	セットアップ p.13
「無効な信号です」のメッセージが表示される。	■最大解像度とビデオアダプターの周波数を確認してください。 ■現在の数値を、画面モードのタイミングチャートにある数値と比較してください。	画面モードについて p.49
画像が明るすぎる、または暗すぎる	■明るさとコントラストを調整してください。	画像の輪郭をはっきりさせる p.23, 44 画像を明るくする（暗くする） p.24. 44
水平方向にノイズが発生する	■微調整をしてください。	微調整 p.25
垂直方向にノイズが発生する	■粗調整を最初に調整し、その後微調整をしてください。	粗調整 p.25 微調整 p.25
画面に何も表示されず、電源ランプが緑色に点灯、または0.5～1秒毎に 電源ランプが点滅する。	■液晶モニターの節電機能(Power Saver)が作動しています。 コンピューターのマウスを動かすか、キーボードのどれか1つキーを押してください。	節電機能(Power Saver) p.48

表4. 画像関連(続き)

症状	対処	参照先
画像が安定せずにゆれて見える	■ コンピューターかビデオボードの解像度と周波数が、液晶モニターの有効モードに設定されているかを確認してください。 ■ 設定が正しくない場合は、コンピューターの画面設定をし直してください。	画面モード p.49 ビデオドライバーのインストールについて p.15
	注意 次の周波数の範囲内でマルチスキャン・ディスプレイ機能をサポートしています。	
	■ 水平周波数： 152MP :30 kHz ~ 60 kHz 172MP :30 kHz ~ 81 kHz ■ 垂直周波数： 56Hz~75Hz ■ 最大リフレッシュ率： 152MP:1024X768/75Hz 172MP:1280X1024/75Hz	
画面の中央に画像が来ない	■ 水平位置と垂直位置を確認してください。	画像を横軸方向に移動する p.26, 46 画像を縦軸方向に移動する p.26, 46
モニタードライバーソフトウェアが必要なとき	■ ドライバーを次のホームページからダウンロードしてください。	http://www.samsung-electronics.com

表4. 音声とテレビ関連(続き)

症状	対処	参照先
音声が聞こえない	■ オーディオケーブルが、液晶モニターのオーディオ入力端子とオーディオ機器のオーディオ出力端子の両方に接続されているか確認してください。 ■ 音量レベルを確認してください。	セットアップ p.13 サウンド(音)の調整 p.27, 32, 42, 45
音量が低すぎる	■ 音量レベルを確認してください。 ■ 音量を最大に変更しても音量が低い場合は、コンピューターのサウンドカードの音量制御、またはソフトウェアを確認してください。	サウンド(音)の調整 p.27, 32, 42, 45 コンピューターのサウンドカード、またはソフトウェアの取扱説明書を参照してください。
音質が高すぎる、または低すぎる	■ 高音と低音を最適なレベルに調整してください。	サウンド(音)の調整 p.27, 32, 42, 45
テレビの信号を受信できない	■ チャンネルシステムを確認して、正しいチャンネルシステムを選択しているか確認してください。 ■ チャンネル自動設定を選択し、自動でチャンネルを検索してください。 ■ p. 29 の「テレビ チューナー ボックスの接続」を参照してください。	NTSC放送システムについてp.49

仕様

表5. 技術と環境仕様

		152MP	172MP
パネル	サイズ 画面サイズ タイプ ピクセルピッチ 視野角度	15.0" 対角線 304.128 (H) x 228.056 (V) mm a-si TFTアクティブマトリクス 0.297 (H) x 0.297 (V) mm 120˚ /140˚ （上下/左右）	17.0" 対角線 337.92 (H) x 270.336 (V) mm a-si TFTアクティブマトリクス 0.264 (H) x 0.264 (V) mm 170˚ /170˚ （上下/左右）
*周波数	水平走査 垂直走査 最大表示色	30 ～ 60 kHz 56 ～ 75 Hz 約1,619万色	30 ～ 81 kHz 56 ～ 75 Hz（~XGA） 60 ～ 75 Hz（SXGA） 約1,619万色
画面解像度	推奨モード 最大モード	1024 x 768 / 60Hz 1024 x 768 / 75Hz	1280 x 1024 / 60Hz 1280 x 1024 / 75Hz
入力信号	入力同期 ビデオ信号	セパレート、TTL、正/負極性 コンポジット、TTL、正/負極性 0.7 Vp-p / 75Ω	
テレビ/ ビデオ	カラーシステム サウンドシステム ビデオ形式	NTSC M CVBS、S-VHS	
DTV	RGB ビデオ信号	セパレートシンク 1080i, 720p, 480p, 480i (米国は除外) 0.7 Vp-p / 75Ω	
最大映像帯域幅		80MHz	135MHz
電源	入力	90~264VAC、50/60Hz ±3Hz	
	出力	DC14V/3A	DC14V/3.5A
消費電力	最大 節電モード パワースイッチオフ	48 W 2 W以下 2 W	58 W 2 W以下 2 W

* プリセットタイミングモードを参照 : 49ページ。

表5. 技術と環境仕様(続き)

		152MP	172MP
寸法/重さ (W/H/D)	液晶モニター本体	358.6X350.6X51mm/ 3.45kg	412X407.5X58.5mm/ 4.85kg
	スタンド使用時	358.6X361.5X175.5mm/ 3.5kg	412.0X414.5X203.0mm/ 5kg
	スタンド収納時	358.6X402.6X51mm/ 3.5kg	412.0X472.0X58.5mm/ 5kg
	VESAマウント インターフェイス	75X75mm (アームタイプスタンド)	100X100mm (アームタイプスタンド)
環境条件	動作温度範囲	１０℃～４０℃	
	動作湿度範囲	１０%～８０%	
	保管温度範囲	－２0℃～４５℃	
	保管湿度範囲	５%～９５%	
オーディオの特徴	オーディオ入力１ (Audio input 1)	RCAジャック赤(R)白(L), 0.5V(-9dB)	
	オーディオ入力２ (Audio input 2)	3.5Φステレオジャック, 0.5V(-9dB)	
	オーディオ入力3 (Audio input３)	RCAジャック赤(R)白(L), 0.5V(-9dB)	
	ヘッドホーン出力	最大10mW出力(3.5Φステレオジャック32Ω)	
	周波数	RF：80Hz~15kHz（-３dB）	
	レスポンス	A/V：80Hz~20kHz（-３dB）	

■ピン配列

表6. D-sub 15ピンコネクター

ピン	セパレート	コンポジット	シンクオングリーン
1	赤	赤	赤
2	緑	緑	緑+コンポジットシンク
3	青	青	青
4	グラウンド	グラウンド	グラウンド
5	グラウンド(DDC リターン)	グラウンド(DDC リターン)	グラウンド(DDC リターン)
6	赤グラウンド	赤グラウンド	赤グラウンド
7	緑グラウンド	緑グラウンド	緑グラウンド
8	青グラウンド	青グラウンド	青グラウンド
9	接続なし	接続なし	未使用
10	グラウンドシンク セルフテスト	グラウンドシンク セルフテスト	グラウンドシンク セルフテスト
11	グラウンド	グラウンド	グラウンド
12	DDC_SDA	DDC_SDA	DDC_SDA
13	水平同期	コンポジットシンク	未使用
14	垂直同期	未使用	未使用
15	DDC_SCL	DDC_SCL	DDC_SCL

Natural Color

Natural Color取扱説明書

NATURAL COLORソフトウェアでモニターの正確なカラープロファイルを作成することにより、モニター表示とプリンタ出力時の正確なカラーマッチング並びに、マルチモニター環境でのカラーマッチングを可能にします。詳しい使用方法は、以下をご参照下さい。

動作環境 ： Windows95®/98/Me/2000/XP
i386以上、2MB以上の空き領域、4MB RAM

目次

1．インストール方法

2．モニター調整方法

⑴ 機能説明

⑵ ▶ Monitor Initialization調整方法

⑶ ▶ Color Adjustment調整方法

⑷ ▶ Color Preference機能説明

3．プリンタカラー調整方法

⑴ 機能説明

▶ Test Print

▶ Color Adjustment

▶ Image Printing

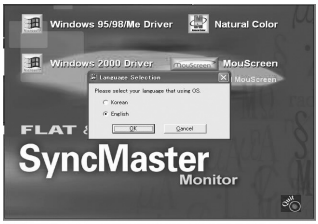
1.インストール方法

下記にNatural Colorのインストール方法についてご案内致します.

注意　Natural Colorをインストール前に、起動中の他アプリケーションは終了させて下さい。

ここをクリック

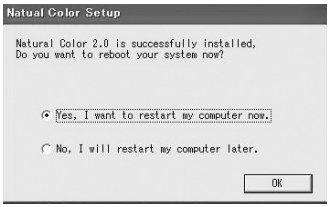
(1) CD-ROMドライブにNatural Colorインストールを挿入し起動させ、**Natural color**をクリックしてください。



(2) クリックすると、表示言語の選択画面が表示されますので英語(English)、韓国語(Korean)のどちらかを選択し**OK**をクリックして下さい。
※韓国語については、韓国語フォントファイルが必要です。

次項目以降は下記の通りにして下さい。

Next　>　Yes　>　Next　>　Next



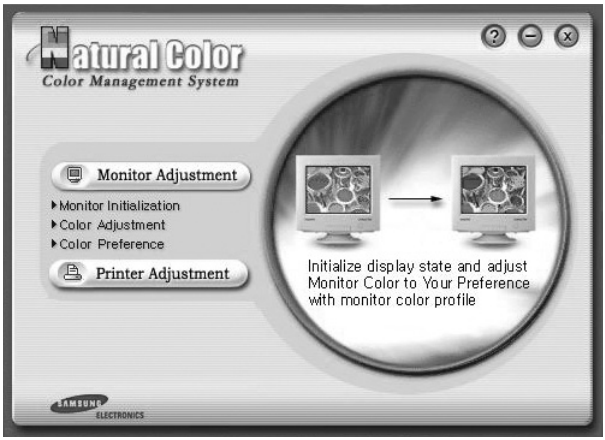
(3) インストール終了後、Windows®再起動のメッセ ージが表示されますので、**OK**をクリックして再起動させてインストール終了です。

注意　再起動させる際には、他アプリケーションを起動させている場合には終了させてから再起動してください。

2.モニター調整方法

インストール後、デスクトップ上にNatural Colorのアイコンが表示されますのでクリックして頂くと下記メニュー画面が開きます。
以下に各機能について、簡単にご案内致します。

Natural Colorメニュー



(1) 機能説明

1. Monitor Adjustment

▶ **Monitor Initialization**

この調整機能では、ご使用のモニターの使用環境等を測定しモニターの初期設定を行います。

▶ **Color Adjustment**

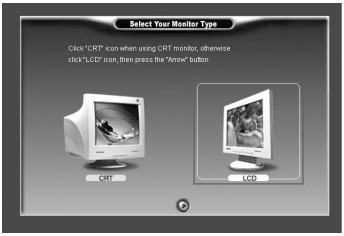
ここでは、赤、緑、青の三原色についてのガンマ値を測定しカラープロファイルを作成します。

▶ **Color Preference**

ここでは、色々な画面モードに応じた調整モードを選択できます。
また、手動ガンマ設定モードでお好みの画面設定ができます。

※本アプリケーションを使用して正確な調整を行う場合には、電源投入後20分以上動作後に行ってください。

(2) ▶ Monitor Initialization調整方法

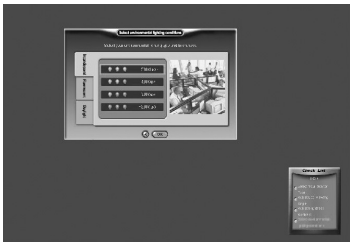


Natural Colorメニューより
▶Monitor Initializationをクリックすると
左記の画面になります。

ここではLCDを選択して▶をクリックして
次の画面に進んでください。

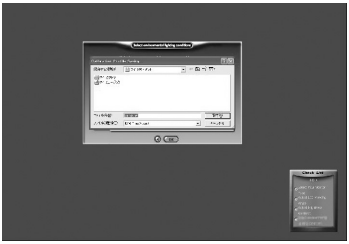
モニター画面が自分の正面を向くよう
画面位置・角度を調整してください。

コントラスト調整値を最小設定してから
画面下の外側の白枠と中の色が同じになる
ようコントラストを調整して下さい。
調整できたら、▶をクリックして次に進んで
ください。



モニターを使用している場所の照明、明る
さを選択して下さい。
選択後、OKをクリックして下さい。

- **Incandescent** = 室内照明が電球色
- **Fluorescent** = 室内照明が蛍光灯色
- **daylight** = 照明なしで日光のみ



以上の設定状態をファイルで保存します。
お好きなファイル名をつけて保存してください。

以上で、モニター初期設定は終了です。

(3) ▶Color Adjustment調整方法(カラープロファイル作成)

ここでは、現在のモニターの状態を測定し、正確なカラープロファイルを作成します。
前項(Monitor Initialization)でモニターの明るさについてキャリブレーションを実行致しましたが、ここでは、カラーキャリブレーションを実行し正確なプロファイルを作成します。

機能説明

表示されている映像の内側の正方形がストライプの背景に溶け込むポイントを▼ ▲のボタンで調整します。

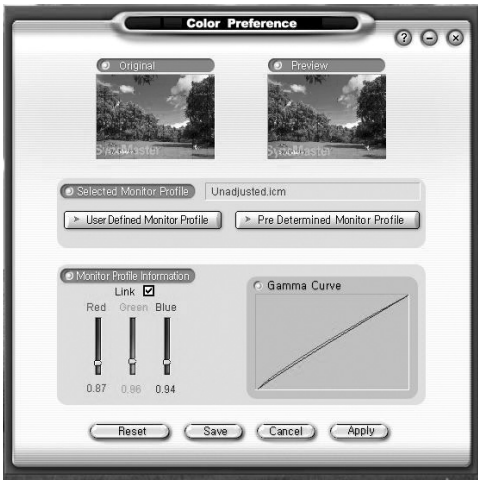
この際のポイントとして、画面と目の距離は約50cm離してください。
また、少し目を細めて見てください。

同様の調整をRed、Green、Blueでそれぞれ行ってください。

終了後、OKボタンをクリックするとファイル保存の窓が開きますので前項目(Monitor Initialization)で作成したプロファイルに上書き保存してください。

(4)▶Color Preference機能説明

ユーザープロファイルデータの選択（User Defined Monitor Profile)並びにPre Defined Monitor Profileでは、予め記憶された画面設定が選択できますのでご覧になる画面にあわせてお好みに選択してお楽しみください。



機能説明

User Defined Monitor Profile

ユーザー自身が作成したカラープロファイルを選択します。

Pre Defined Monitor Profile

11種のカラープロファイルからお好みの設定を選択できます。

Monitor Profile Information

赤、緑、青の各バーを上下させることにより、ガンマ値を変化させることができます。

Linkにチェックマークが入った設定では3色がリンクして設定を行います。
Linkのチェックを外すと各色それぞれに設定することができます。

Reset

この画面で調整した設定を元に戻します。

Save

調整した状態を保存します。Saveボタンをクリックすると、ファイル保存画面になりますので、ファイル名をつけて保存してください。

Cancel

この機能を終了します。

Apply

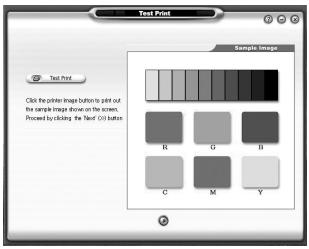
設定が適用されます。設定変更の確認メッセージが表示されますので15秒以内で決定してください。

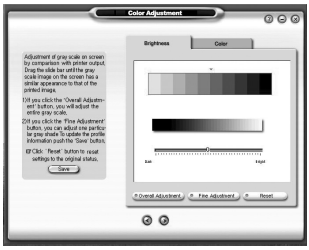
3. プリンターカラー調整方法(Printer Adjustment)

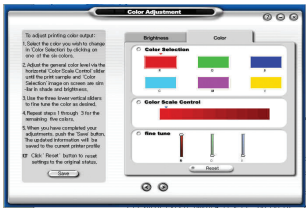
ここでは、モニターで表示された画像とカラープリンターの色を合わせて出力させるプログラムです。
下記Natural ColorメニューよりPrinter Adjustmentを選択して調整を実行してください。

Natural Colorメニュー

Natural Color
Color Management System
Monitor Adjustment
Printer Adjustment
Test Print
Color Adjustment
Image Printing
Optimize Printer Colors and Generate a Printer Color Profile, Print Out via 'Natural Color' ('What You See Is What You Get' Color) Using Your Printer Color Profile







(1) 機能・操作説明

▶ Test Print

画面上のイメージ画像をTest Printします。

① Test Printボタンをクリックして画面上のイメージ画像をプリントアウトしてください。

▶ Color Adjustment

1) Brightness Adjustment

Test Printで出力したグレースケールイメージと画面上のグレースケールイメージの明るさを合わせます。

① まず最初にOverall AdjustmentにてTest printでプリントアウトしたイメージのうちグレースケール部分についてプリントアウトと比較してだいたいの明るさを合わせます。

② 次にFine Adjustmentで10段階の各段階ごとに明るさの調整を行ってください。

2) Color Adjustment

Color Adjustmentタグをクリックしてカラーの調整方法をご案内します。ここでは、Test print の6色のカラー部分について画面表示の色とプリントアウトの色を合わせて行きます。

① 6色のうち1色を選んで、最初にColor Scale Controlでそのカラーに一番近い色合いを選択して下さい。

② 次にFine Tuneを選択し、R,G,B各色のスライドバーを調整し色合いを合わせてください。各6色について同様の調整を実施して下さい。

③ 調整後Test Printを何度か実行してプリントアウトの色と画像の色合わをしてください。

3) Save

色合いが合いましたらSaveボタンをクリックしてお好みのファイルネームを付けて保存して下さい。

▶ Image Printing

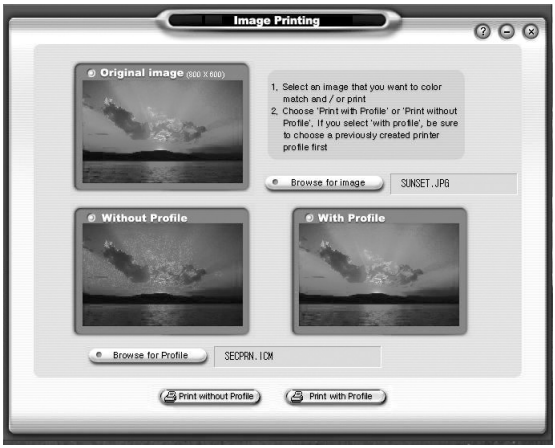


Image Printing
Original image (600 X 600)
1. Select an image that you want to color match and / or print
2. Choose 'Print with Profile' or 'Print without Profile'. If you select 'with profile', be sure to choose a previously created printer profile first
Browse for image
SUNSET.JPG
Without Profile
With Profile
Browse for Profile
SECPRN.ICM
Print without Profile
Print with Profile

(1) ここでは ▶Color Adjustment項で作成したカラープロファイルデータでのプリントイメージ(with Profile)とカラープロファイルを使わずプリントアウトしたイメージ(without Profile)をオリジナル画像と比較することができます。

① まず Browse for Image をクリックして、印刷したい画像を選択します。

→ Original Imageに選択された画像が表示されます。

② Browse for Profileをクリックし、前項で作成したプリンタプロファイルデータを選択します。

→ without Profile、with Profile各欄に
プロファイルデータにより補正されたイメージ画像(with Profile)並びに補正しない場合の印刷イメージ(without Profile)が表示されます。
Original Imageとwith Profileの画像を比較して
色合い、明るさ等同様であればモニター上の表示と
同様に印刷されるでしょう。

アフターサービス

サムスンの製品は、全国どこでもアフターサービスが受けられます。
修理などアフターサービスについてのお問い合わせは、「お客様ご相談ダイヤル」にご相談ください。

■日本サムスン株式会社

●お客様ご相談ダイヤル

0120-363-905

受付時間　　平日　　9:00~18:00
　　土日祭日 9:00~12:00　13:00~17:00
FAX　　03–5641–9883
E-mail　　cyber@samsung.co.jp
ホームページ　http://www.samsung.co.jp

●本社

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-31-1浜町センタービル
TEL　(03) 5641-9036
FAX　(03) 5641-9861
受付時間　平日 (土日祭日を除く) 9:00~17:00

●東京サービスセンター

〒 103-0007 東京都江東区大島2-32-8
TEL　(03) 3683-0364
FAX　(03) 3683-0381
受付時間　　平日 (土日祭日を除く) 9:00~17:30

索引

A

Auto ..... 8、11
DCアダプター ..... 6、9
D-sub 15ピンコネクター ..... 6、58
DTV画像調整 44
　DNIe機能の設定 44
　DTVのスクリーンの設定 46
　明るさの調整 44
　色の濃さ(色調)調整 45
　コントラストの調整 44
　サウンド(音)の調整 45
　縦軸移動 46
　横軸移動 46
Exit(終了) ..... 8、11
LNA 38
Natural Color 59
OSD ..... 18、19
　自動保存機能 18
　設定固定/解除 18
OSDの設定 22
　OSDの背景色の変更 22
　OSDの表示位置の変更 22
　OSDの表示時間の変更 22
　OSDのビープ音の設定 22
PC画面調整 23
　明るさの調整 24
　色設定のリセット 24
　色の自動調整(モード1～3) 24
　色の手動調整(ユーザーモード) 24
　粗調整 25
　コントラストの調整 23
　サウンド(音)の調整 27
　縦軸移動 26
　微調整 25
　横軸移動 26
PIP(ピクチャーインピクチャー) 28
　PIPサイズの変更 28
　PIP表示位置の変更 28
　VESAマウント ..... 52、57

あ

アクティブ 領域(サイズ)の設定 ... 38、43
アフターサービス 67
オーディオ機器選択ボタン ..... 7、11

か

画質選択 26
　粗調整 25
　画像の調整 26
　　あらい
　　ややあらい
　　中間
　　ややソフト
　　ソフト
　設定のリセット 25
　縦軸移動 26
　微調整 25
　モードの確認 25
　横軸移動 26
画面モード 49
困ったときは 53

さ

サウンド(音)の調整 ... 27、32、42、45
　サウンド(音)切り替え

標準
音楽
映画
ニュース
メモリー
高音の調整
低音の調整
映像の色モード替え .....31、41
寒色2
寒色1
ノーマル
暖色 1
暖色2
音量ボタン 8、11
ステレオ方式の設定.....32、42
音声多重.....32、42
モノラル
ステレオ
２ヶ国語
節電機能(Power Saver) 48
セットアップ 13
消音(Mute).....11、33

た

タイマー(スリープ)の設定.....39、43
チャンネルボタン.....8、11
テレビ画像調整.....29
自動チャンネルの設定.....35
受信感度(チャンネル微調整)の調整
.....36
チャンネルシステムの設定.....34
テレビ チューナー ボックスの
接続 29
電源(Power) ボタン/電源ランプ.....7

は

ビデオ(VIDEO)画像調整.....40
DNIe機能の設定.....43
アクティブ 領域(サイズ)の設定.....43
映像(ピクチャー)の切り替え 40
映像の色モード替え.....41
サウンド(音)切り替え.....42
サウンド(音)の調整.....42
タイマー(スリープ)の設定 43
映像(ピクチャー)の切り替え .....30、40
メモリー
明るさの調整
コントラストの調整
色あいの調整
色の濃さ(色調)調整
画質調整
ダイナミック
標準
映画
背面.....9
フロントパネル 7

ま～ら

メニュー (Menu)ボタン .....8、11
リモートコントローラー.....11